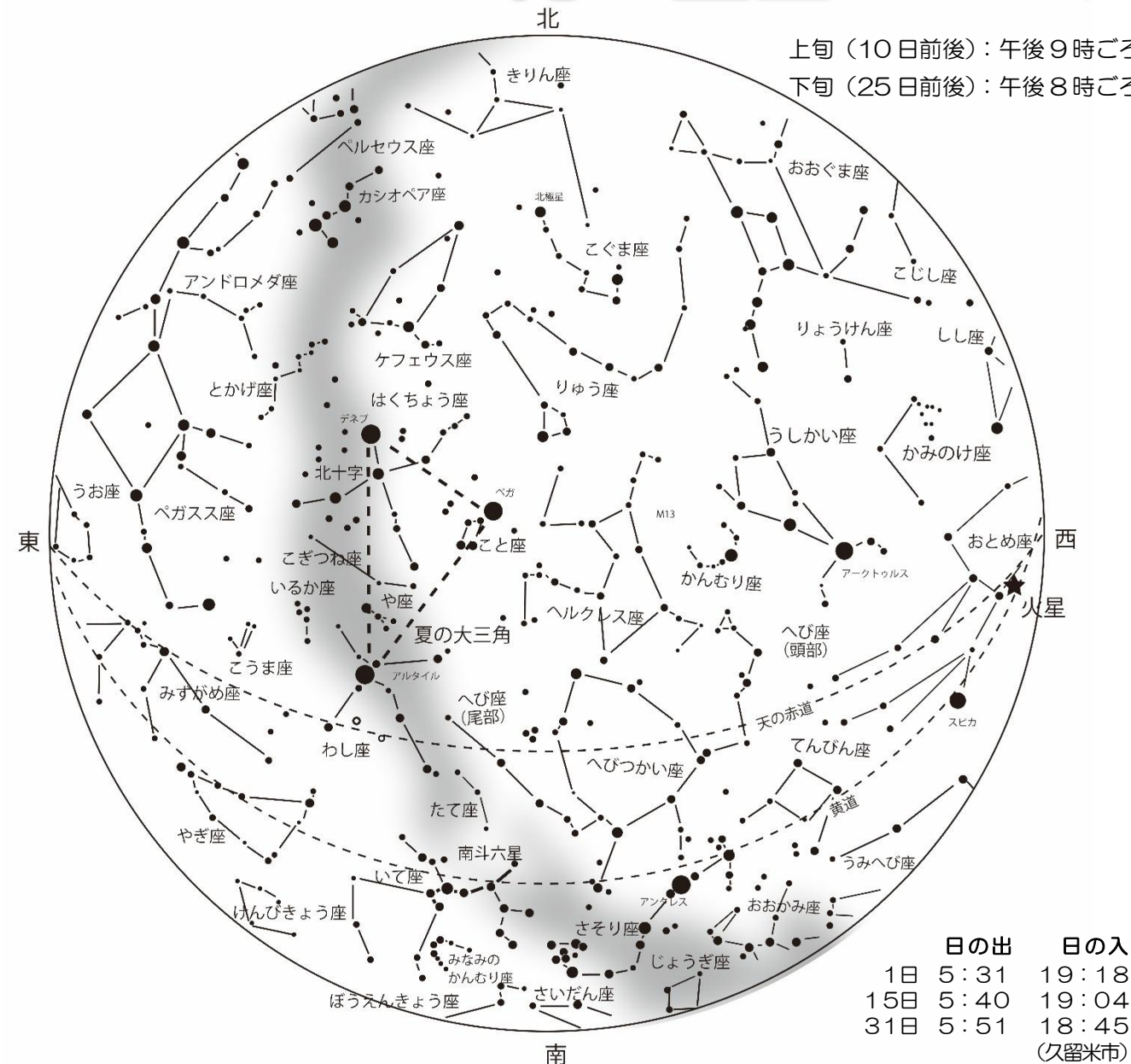


令和7年 8月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★8月の星空案内

暑い日が続いており、夏本番ですね。8月の夜空には、夏の星座たちが見ごろとなります。夏の星座を見つけるには、まず明るく輝く3つの1等星を結んでできる『夏の三角形』を探しましょう。まずは、『夏の三角形』の中で一番明るい、**こと座のベガ**です。ベガは星座を形づくる星の中で5番目に明るく、上図の時間帯に頭の真上あたりでひときわ美しく輝く、「真夏の女王」と呼ばれる星です。こと座は、ベガとすぐそばにある4つの星でつくる小さな四角形の星の並びを目印に見つけることができます。次に、**わし座のアルタイル**。ベガから南東の方に目線移すと見つけることができます。わし座はアルタイルと両脇にある2つの星の並びを目印に見つけることができます。最後に、**はくちょう座のデネブ**。ベガから北東の方に目線移すと見つけることができます。はくちょう座は北十字とよばれる十字の星の並びを目印に見つけることができます。また、ベガは七夕のお話に登場する「織姫星」として、アルタイルは「彦星」として知られています。ぜひ『夏の三角形』から、こと座、わし座、はくちょう座を探してみてください。

さらに南の空低いところへ目線移すと、「アルファベットのSの字」のような星の並びが目印のさそり座があります。さそりの心臓のあたりで赤く輝く星は1等星の**アンタレス**です。また、さそり座の東にはスプーンのような形をした6つの星の並び、**南斗六星**を目印にいて座を見つけることができます。

夏の三角形は街明かりのある久留米でも十分見つけることができます。夏の夜風に吹かれながら、『夏の三角形』を目印に夏の星座探しを楽しんでみてはいかがでしょうか。

【惑星の見え方】（☆マークは、今月のおすすめです。）

水星（4.8～1.2等前後）	：かに座→しし座付近	観望に適さない。
金星（-4.0等前後）	：ふたご座→かに座付	観望に適さない。
火星（1.6等前後）	：おとめ座付近	観望に適さない。
木星（-1.9等前後）	：ふたご座付近	日の出前、東の低空で輝く。（中旬以降）
☆土星（0.7等前後）	：うお座付近	真夜中、南東の空で輝く。

注目の天文現象（8月）～金星と木星の大接近を観察しよう～

8月11日から13日にかけて、明け方の東北東から東の低空で金星と木星が接近して見えます。特に、12日は最接近し、1度未満まで近づき、肉眼でも観測可能ですが、双眼鏡をお持ちであれば、前後数日にわたって同一視野内で観測することができます。

-4等級の金星と-1.9等級の木星が競い合うように輝く夜明けは、大変美しいものとなるでしょう。2つの惑星は、ふたご座の中を少しずつ移動していきます。少し早起きをして、夜明け前の空の中で輝く2つの明るい惑星とふたご座と一緒に観察してみてくださいはいかがでしょうか。

また、13日午前5時ごろには、ペルセウス座流星群の活動が極大を迎えます。運が良ければ、2つの惑星と流れ星と一緒に観察することができるかもしれませんね。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	金	● 上弦（21:41）	23	土	● 新月（15:07）
9	土	○ 満月（16:55）	29	金	伝統的七夕（旧七夕）
13	水	ペルセウス座流星群が極大（月明かり有）	31	日	● 上弦（15:25）
16	土	● 下弦（14:12）			